

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境					0.40	-	-		3.2
1 音環境				3.5	0.15	-	-		3.5
1.1 室内騒音レベル		3階CR4(高17F):室内許容騒音レベル45相当		4.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				3.4	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		遮音性能等級T-2の建具を採用		5.0	0.30	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				2.0	0.20	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.60	-	-		
2 外皮性能				3.0	0.40	-	-		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-		3.3
3.1 昼光利用				3.6	0.30	-	-		
1 昼光率		3階CR4(高17F):昼光率2.0%以上2.5%未満		4.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度		3階CR4(高17F):500Lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-		3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙を確認しており、外部に喫煙コーナーを設けていない		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.4
1 機能性				3.6	0.40	-	-		3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00	-	-		
3 バリアフリー計画				4.0	0.30	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.50	-	-		
1 広さ感・景観				-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース				5.0	0.50	-	-		
3 内装計画		自然素材の木製を採用し、落ち着いた授業に集中できる空間を計画した。内装壁天井の白を基調とし、内装壁天井の色調に合致した昼白色のLED照明設備を採用した。		5.0	0.50	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		外壁面に水切り設置、外部露出の金属部材はアルミ材を採用し防錆対策とした		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		建物の延床面積に対し0.2%以上の清掃員控室を確保、共用通路の維持管理用の専用コンセントは直径30mの円内に配置		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外装仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		

	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.8	0.30		-	3.8
	3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
	1	階高のゆとり	階高:3.7m以上3.9m未満	4.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1以上0.3未満	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		積載荷重:2900N/m ²	4.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性			3.6	0.40		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラック、PF管を採用	5.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性	ケーブルラック、PF管を採用	5.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保	仮設スペース、バックアップスペースを確保	4.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	3.5
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30		-	3.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		入口大階段は庇を設け待ち合せ等が可能、中庭・テラスにより開放的な空間を計画	4.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制				5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化				3.6	0.50		-	3.6
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			-	-		-	
	4.1	モニタリング		-	-		-	
	4.2	運用管理体制		-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水		自動水栓に加えて節水便器も採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60		-	3.5
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:OA7コア(フリーアクセスコア)、テラス:再生ウッドデッキ、内装材:集成材	5.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用し、OA7コアも採用している	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20		-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
	1	消火剤		-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1の性能を有する発泡剤を用いた断熱材を採用	5.0	0.50		-	
	3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	駐車場及び管理用車両の駐車施設を設置し、車両出入口W=6m以上を4ヶ所設けて周辺道路の渋滞緩和している	4.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.50		-	
	2	振動		3.0	0.50		-	
	3	悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.6	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.60		-	
	2	砂塵の抑制		1.0	0.20		-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.20		-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光や照明に関する専門知識がある人を検討体制に加える、広告物照明がない	5.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	